

2006年4月3日

平成18年社長入社式挨拶(要旨)

三菱マテリアル(株)取締役社長 井手 明彦

皆さんを三菱マテリアルの社員として迎えられたことは、私たちにとっても大きな喜びであります。

さて、本年からの当社の入社式は、4月1日に入社する定期採用者については、全員をひとつの入社式に招致し、また新入社員導入研修を一緒に行うこととなりました。これは、フレッシュな皆さんに、全社共通のメッセージを直接伝えたいこと、また、新入社員として習得すべきことを全社共通のプログラムで確実に習得して欲しいこと、そして何よりも同期入社としての一体感、又三菱マテリアルの社員としての誇りといったものを一体となって育んで頂きたいと思ったからです。

当社グループは今期中期経営計画の仕上げの年を迎えております。「信頼される会社」「儲ける会社」「元気な会社」「光る会社」をあるべき姿とし、業績に関しては、中期経営計画で掲げた目標を1年早く前倒しで達成できる見通しです。一方、あるべき姿となるには、これで十分という停滞を許さない、永遠・不断の努力が必要であります。

私は今、10年後の当社を次のように思い描いています。全社員の力を集中し、事業の柱が本業をベースに構築されており、強みを生かした新規事業展開が花開いている。名実共に一流の企業集団として世間から高い評価を得ており、様々な困難にも負けずに益々業容を世界に拡大させてゆく、社会から信頼され、従業員も幸せな、三菱マテリアルグループ。そんな会社でありたいと思うのです。

そして、そのような輝かしい三菱マテリアルグループになるための原動力となるもの、それは、究極のところ、「人」「社員の力」です。社員一人一人の情熱や意欲、積極的な行動力、困難に打ち勝つ精神力や勇気が、組織を動かしていくのです。今日のグローバル規模で進む大競争時代にあって、多様多彩な人材を有し、生き生きとした組織を有する企業が勝利するのであり、人材こそが当社のもっとも大切な財産であります。皆さん一人一人が、私のこうした想いに応えてくれるような立派な光る社員になって頂きたいと思えます。

最後になりますが、当社は総合素材メーカーとして、豊かな資源、素材、エネルギーを世に送り出し、「人と社会と地球のために貢献する」ことを企業理念としています。私は社員の皆様に、このことこそが自分たちにとって「本業」であることをいつも忘れず、誇りをもってその「本業」を貫くことによって、社会の中で「勝ち抜き、生き抜く」という強い意志とたくましさを持ち続けて欲しいと願っております。皆さん一人ひとりが、当社グループの企業理念を理解・共有し、その実現に向けて努力していただくことが求められているということです。

皆様が自分にかせられた仕事に対してプロ意識「職人氣質」を持って、「本業に徹して厳しい競争に勝ち抜く」その過程において、一丸となって努力し、目標達成の暁には感動を体験し、これをすべての関係者と共に共有できるような当社にとってかけがえのない人材となって頂きたい。これが私の最大の願いであります。

(ご参考)

1. 入社式日時:平成18年4月3日 午前10時より
2. 入社式場所:大手町サンスカイルーム
3. 新入社員数:110名

以上